

第5回 ユニセフ シアター

『さとうきび畑の唄』上映に際して 高校生実行委員からのお願いとお誘い

「戦後 80 年、今を生きる私たちにできること」

2025 年、私たちは戦後 80 年という節目の年を迎えました。

戦争を知らずに育った私たちにとって、日本が戦争をしていたという実感は、年々遠いものになりつつあります。戦争を体験された方々の多くがご高齢となり、直接お話を伺える機会も、ほとんどなくなってしまいました。



そんな私たちの心に、今もなお深く訴えかけてくる写真があります。それが『焼き場に立つ少年』（撮影：Joe O' Donnell）と呼ばれる一枚です。原爆投下後の長崎で亡くなった幼子を背負い、焼き場に静かに立つ少年の姿。下唇を強く噛み締め、涙も見せず、ただ真っ直ぐに立つその小さな姿は、深い悲しみと痛みが伝わってきます。

「こんな子どもを、もう二度と生み出さないためには…」

「平和は、誰からか与えられるものではなく、私たち一人ひとりが守り、そして未来へと繋いでいくもの」

「戦後 80 年という今だからこそ、過去から学び、未来に責任を持って生きたい」

「きっと高校生にもできることは、私たちが想像している以上に沢山ある」

そこで、私たちは「今、自分にできることは何か」を考え、行動に移すことにしました。

今、世界で起きている戦争や貧困、災害のニュースは、携帯やネットを通じて簡単に知ることができます。しかし、ただ「知って終わる」のではなく、同じ世代の人たちとともに「感じていること」「今の自分にできること」を話し合い、行動に移すこと。それこそが、本当の「平和をつくる力」だと、考えました。

そこで、大阪ユニセフ協会の催しのなかに、高校生が主体となって運営する「たこやきキャンパス」を実行委員会形式で開催することになりました。

第 1 弾は、9 月 23 日（火・祝）『さとうきび畑の唄』上映会です。戦後 80 年の年にふさわしく、幅広い年齢層の方に観ていただける作品を選ぶことを大切に、唯一地上戦となった沖縄のドラマに決定しました。上映当日は、実行委員のメンバーと高校生が、準備や司会をさせていただくことになっております。ぜひ、多くの方に参加していただけることを願っております。

次に、第 2 弾 11 月 8 日（土）「平和学習発表会」（OCAT 講堂で 13 時より開催）を、準備をしております。現在、小学校から大学の発表参加校と、当日の様子を見に来ていただく参加者も募っています。

各学校ごとに「平和・戦争」に関わる学習した内容や活動報告などを自由な形式で発表をしてもらいます。その後、感想・質問交流の時間を設け、内容を深めたいと考えています。

現在進行中の 2 つのイベントは、高校生実行委員が、自らの想いを込めて、一つひとつの内容を話し合い、準備を重ねてきたものです。ほんの小さな一歩かもしれませんが、しかし、意見を交わしながら「平和」という言葉の重みを感じながら、一生懸命に思いを込めて進めています。

9 月 23 日、11 月 8 日に参加していただき、一緒に「平和」「戦争」「支援」を語る仲間になっていただけたら、とても嬉しく思います。

世界中の全ての子どもたちの権利を守り、子どもたちの笑顔のために、どうか皆さんの温かいご協力を宜しくお願いします。

大阪ユニセフ協会 「たこやきキャンパス」高校生実行委員

石川初穂 神倉那菜 楠小蒔 黒川七海 西村香穂